

日本海水学会若手会第4回学生研究発表会を終えて

実行委員長 三角 隆太*

春の気配が感じられはじめた3月8日(木)、9日(金)の二日間の日程で、若手会第4回学生研究発表会を横浜国立大学で開催しました。学生研究発表会は海水に関する研究に携わる多くの学生、若手研究者の相互の学術情報の交換と、交流を目的として3年前に千葉工業大学で初めて開催され、秋田、徳島と毎年場所を移し、今年は横浜での開催となりました。本研究発表会の発表件数、参加人数が回を重ねる毎に増えてきていることを考慮して、今回は初日の10時から口頭発表のプログラムを組み、午後に口頭発表とポスター発表の各セッション、夕方に特別講演、交流会、2日目に横浜、川崎の臨海地域の工場見学会を設ける日程としました。発表件数は、口頭発表20件、ポスター発表19件、参加人数は、学生33名(大学院生8名、4年生25名)、若手会員と一般を合わせて22名、合計55名と大変盛会となりました。

若手会代表の石川匡子先生にご挨拶をいただき、最初の口頭発表セッションがスタートしました。今回は、横浜国立大学の教育文化ホールの大ホールを会場としましたので、普段より大きなスクリーンでのプレゼンテーションを体験してもらえたと思います。本会は、これまで3月上旬に開催されており、学部4年生が卒業研究を終えて、初めての学会での研究発表となるケースが比較的多いことなどを考慮して、講演時間7分、質疑応答3分で一人あたり10分の持ち時間と、前年と同じく比較的短めの時間設定としました。そのため、いずれの発表も持ち時間をフルに使って、十分に練習された発表ばかりでした。また、6月の年会では遠慮がちな学生も、本会の口頭発表では学生どうしの質疑応答が活発に行われ、学生主体の研究発表会として大変好ましい傾向が見られました。

午後のポスターセッションは口頭発表の会場の片側にパネルを並べて会場としました。少々手狭なスペースではありましたが、ここでも熱気ある発表・質疑が繰り広げられました。

研究発表のあとの特別講演は、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の鈴木信市氏に「海に眠る宝の山を掘る。－海洋資源開発にも貢献するJOGMEC－」と題して講演していただきました。日本海水学会とも大変関連の深いメタンハイドレートなどの海洋資源開発の最前線について、氏の体験をふまえた大変興味深いお話を聞くことができました。



写真1 口頭発表の様子

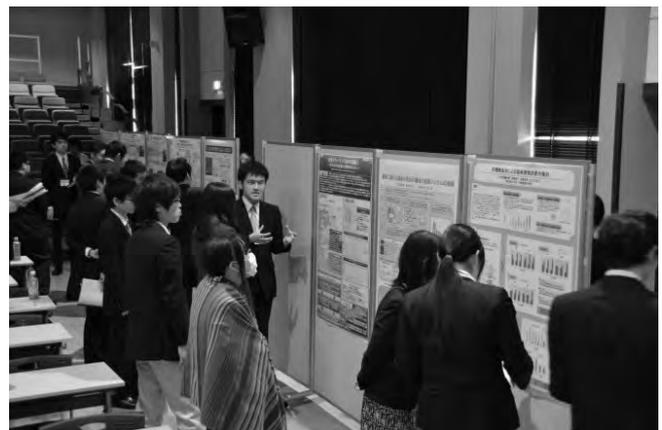


写真2 ポスター発表の様子

特別講演のあとは学内の食堂に場所を移して交流会を開催しました。本会では、例年交流会の参加率が高く、今回も研究発表会の参加者の多くが交流会にも参加し、学生どうしや若手研究者との交流を深める姿が見られました。学会長の尾上薫先生にプレゼンターをお願いして表彰式に移りました。全参加者による投票の結果、優秀賞に横浜国立大学の東口貴幸君「溶液の過飽和度を考慮した結晶成長モデルに基づく晶析現象のポピュレーションバランス解析」、千葉大学の染谷孝明君「セシウム吸着繊維を用いたタンク内の高塩濃度汚染水へのセシウム除去シミュレーション」、九州大学の細縦侑貴穂さん「大腸菌を用いた希土類金属の

* 横浜国立大学 (〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5)
TEL: 045-339-3995, E-mail: r-misumi@ynu.ac.jp

新たな回収法の開発」, 日本大学の永倉拓也君「大気圧プラズマを用いた水溶液中の微量有機化合物の除去」, 慶應義塾大学の富田修平君「クラスレートハイドレートの生成・分解を利用した二酸化炭素分離に関する連続分離実験」の5名が, また若手会特別賞に埼玉大学の齊藤豪大君「近世スウェーデンにおける塩輸入—ポルトガル産海水塩との関係を中心に—」が選ばれました。表彰されたみなさんは,



写真3 左から, 石川先生, 細縦さん, 齊藤君, 東口君, 尾上先生, 永倉君

研究内容はもちろんのこと, 優れたプレゼンテーション技術が評価されたものです。おめでとうございます。

2日目は, 横浜駅西口に集合して, 貸切バスにて工場見学に出発しました。午前中は, 日清オイリオ横浜磯子事業所を訪問しました。同事業所は日本最大級の製油工場で, 今回は, 原料の荷揚げ・サイロ設備, パッキング設備など食用油製造工程を中心に見学しました。

横浜山手地区の車窓見学, 山下公園の氷川丸の前での記念撮影, 中華街での昼食を楽しんだあと, 午後は味の素川崎工場を訪れ, うまみ調味料を使った味覚テストを体験し, ほんだしの製造工場を見学しました。帰路は, 京急線・JR線を利用する方は, 鈴木町駅に徒歩で向かってもらい, バスは羽田空港を経由して横浜駅西口で解散しました。

今回は, 二日間とも天気恵まれ, 順調に日程を消化することができました。末筆ながら, 特別講演をご快諾いただいたJOGMECの鈴木信市様, 同氏を紹介して下さった上ノ山周先生に感謝申し上げます。本会を開催するにあたり, 若手会代表の石川先生をはじめ, 若手会の幹事のみなさまには本会の開催案内から講演募集, 当日の運営に至るまで大変お世話になりました。本稿をお借りして, あつくお礼申し上げます。



写真4 氷川丸の前での記念撮影